

ユーザーマニュアル

(取り扱い・保守・点検)



目次

1 概要説明	4
1 概要	4
1.1 使用範囲	4
2 安全上の注意	5 ~ 7
3 仕様、付属品	8
3.1 仕様	8
3.2 寸法	9
3.3 付属品	10
3.4 各部の名称	11 ~ 13
2 操作	14
1 準備	14
1.1 電源を入れる	14
1.2 コーヒー抽出口の高さ調節	15
1.3 カップを温める	15
1.4 豆ホッパーにコーヒー豆を入れる	16
1.5 牛乳を入れる	16
2 使用法	17
2.1 ドリンクメニューボタン	17
2.2 ドリンクメニューの画面	17
2.3 予熱	18
2.4 ミルク経路の洗浄	18
3 ドリンクメニューの設定	19
3.1 プログラムモードへのアクセス	19
3.2 ドリンクメニューの設定	19 ~ 20
3.3 水量	21
3.4 ミルクの量	22

3	お手入れ	23
1	使用中にするお手入れ	23
1.1	抽出口のリンス	23
1.2	スチームノズルのフラッシング	23
2	毎日するお手入れ	24
2.1	自動クリーニング	24 ~ 26
2.2	トレイの清掃	26
3	毎月するお手入れ	27
3.1	豆ホッパーの清掃	27
3.2	抽出口の清掃	27
3.3	クリーニングボールの補充	28
3.4	本体の清掃	28
4	トラブルシューティング	29
1	通知と対処方法	29
	アフターサービス	31
	保証書	32

1 概要

このマニュアルは、取り扱い・保守・点検などに関する本製品の取り扱い方法について、ユーザー、専門業者、サービス技術者に説明するためのユーザーマニュアルです。ご使用になる前にこのマニュアルに書かれた内容を十分にお読みになり正しくお使いください。なお、お読みになった後は大切に保管してください。本書に記載の内容は改善のため予告なく変更する場合があります。

1.1 使用範囲

本製品はホットコーヒー抽出、給湯、スチーム、ホットミルク用に設計された、室内専用の業務用全自動コーヒーマシンです。

- 必ず指導および訓練を受けた、または資格を有する技術者、専門業者、施工業者、またはそれに類するスタッフによりお取り扱いください。
- 取り扱いおよび保守に関し、指導および訓練を受けた管理者、スタッフが監視、管理できる場所にのみ設置してください。
- このマニュアルで説明されている内容以外の方法、その他の用途で使わないでください。

〈注意〉

本製品は安全に責任を負う人により監督者がつけられるか、または事前に本製品の使用方法について十分な説明が行われた場合を除き、製品に関する知識のない方、体力、感覚能力が著しく低下した方など、本製品を取り扱うのに不適切と思われる方の使用を想定していません。また、本製品で子供が遊ぶことのないよう十分に注意し、管理してください。

〈凍結してしまったら…〉

凍結が確認されたときは、電源を入れず、自然解凍するまで（水道から給水ができるまで）待ちます。機器や配管（給水・排水）から水漏れなどがないかよくご確認のうえ、電源を入れます。洗浄、給湯、抽出など正常に機能しているか、給水、排水管から水が漏れていないか、よく確認してから使用を開始してください。製品に異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店へご連絡ください。

2 安全上の注意〈必ずお守りください〉

- ご使用の前に必ずこの「安全上の注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を「警告」「注意」の2つに分け、説明しています。



警告

誤った取り扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



指示

この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。



禁止

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



警告



必ず、指導および訓練を受けたスタッフにより設置し操作する
(火災、感電、やけど、けがの原因)

漏電遮断器付、定格30A(单相三線200V)の専用電源を単独で使用する

(火災の原因)

- ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しない。
- 電源プラグを使用する際には必ず指定された定格を有するものを使用する。

異常・故障時には直ちに使用を中止する

(火災、感電、やけど、けがの原因)

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- 異常な音やにおいがする。
- 本体に破損や変形がある。
- 本体から水や蒸気が漏れる。

※ 異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。



警告



しっかり固定された、強度が十分な耐熱性のある平らな場所に置く

(やけど、けがの原因)

電源プラグは根元までしっかりと差し込む

(火災の原因)

電源プラグやコンセントのほこりなどは定期的にカラ拭き掃除をする

(火災の原因)

本体を手作業で移動させるときは、保護手袋をつけ、必ず二人以上で作業する

(けがの原因)



電源プラグ・コードを破損させない

(火災、感電の原因)

- 傷付けたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない。
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない。
- 火に近づけたり、高温部に近づけたりしない。

※ 電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検、交換を依頼してください。

屋外で使用しない

(火災、感電、やけどの原因)

水や蒸気のかかる場所、火気・熱源の近く、凍結の恐れのある場所で使用しない

(火災、感電の原因)

分解、修理、改造をしない

(火災、感電、やけどの原因)

- 修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理したりしない。

豆ホッパー（グラインダー）に液体を入れない

(火災、感電の原因)

子供、取り扱いに不慣れな人、介助を必要とする人だけで使わせたり、乳幼児に手の届くところで使わない

(火災、感電、やけど、けがの原因)

- 子供が機器（電源コード含む）で遊ばないように監視する。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

(感電の原因)



注意



お手入れは必ず各部が冷えてから行う

(けが、やけどの原因)

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災、感電の原因)

- 電源コードを無理に引っ張らない。



お手入れのとき以外は豆ホッパーの中に指などを入れない

(けがの原因)

使用中および使用後しばらくは抽出口やスチームノズル、給湯ノズルに触れない

(やけどの原因)

- 抽出中、お湯や蒸気を出している最中に抽出口や蒸気が出るところに顔などを近づけない。

抽出中や給湯中にトレイを取り外さない

(やけどの原因)

本体や電源プラグ・コードに水をかけない

(火災、感電の原因)

- 水をかけたり、水に浸けたり、水洗いしたりしない。

※ 誤って水をこぼしてしまった場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

設置場所について



設置場所は以下の環境に注意してください。

- 水平で強度が十分であること
- 水や蒸気のかかる場所でないこと
- 火気、熱源の近くでないこと
- 凍結する恐れがないこと
- 高温・多湿でないこと
- 直射日光が当たらないこと
- 高圧洗浄機を使用する場所でないこと

※ 本機の動作温度は 16 ～ 32℃ です。

※ 市販のミルク用冷蔵庫を設置する場合は、別途、設置場所を確保してください。

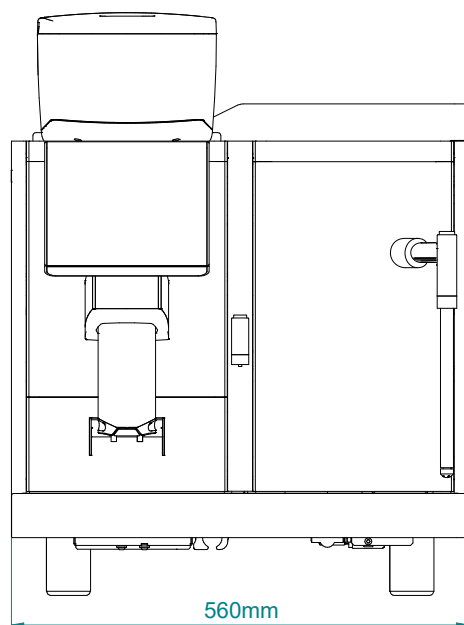
3 仕様、付属品

3.1 仕様

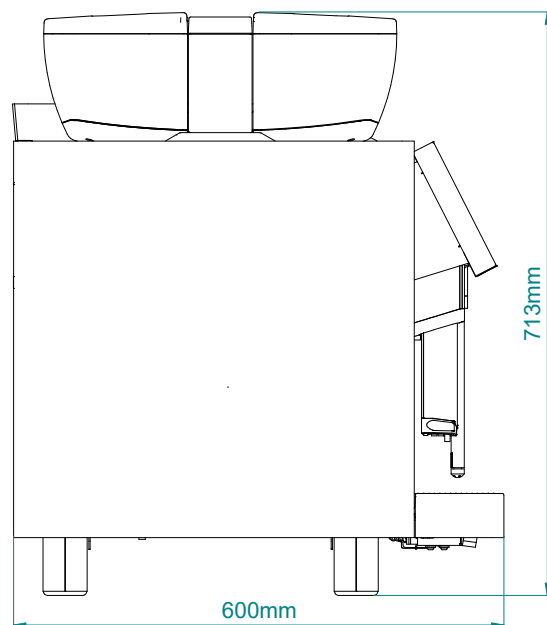
型式番号	e'2m
品名	スーパーオートマティックコーヒーマシン
抽出能力	エスプレッソ：175 杯 / 時間（抽出時間：23 秒の場合） 給湯：150 回 / 時間（給湯量：200mL の場合） スチーム：連続 カプチーノ：175 杯 / 時間
豆ホッパー容量	1.5kg × 2
抽出チャンバー容量	最大 24g
グラインダー	直径 64mm セラミックグラインダー × 2
ボイラー容量	コーヒーボイラー：1.6L スチームボイラー：5.6L
抽出口の高さ	65 ～ 165mm
操作画面	8インチカラータッチパネル
フロント イルミネーション	フルカラー LED、グラデーション調整可能
通信 インターフェース	USB、SD カード、Ethernet シリアル RS-232CCI (24VDC、15W)
電力要件	単相 200V、2L-PE、30A、50/60Hz
水質	全硬度：最大 120mg/L 炭酸塩硬度：最大 6° KH pH 値：7.0 ～ 7.2（推奨）
重量（約）	87kg
寸法（約）	幅 560mm × 奥行 600mm × 高さ 713mm

3.2 寸法

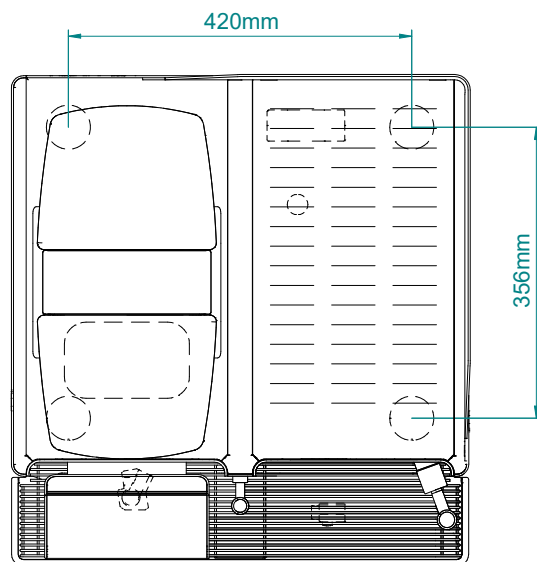
(前)



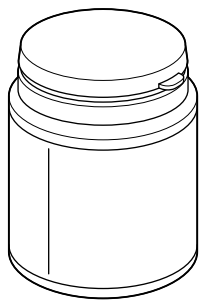
(横)



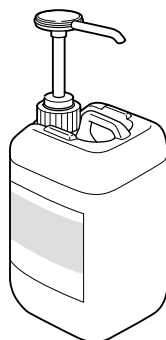
(上)



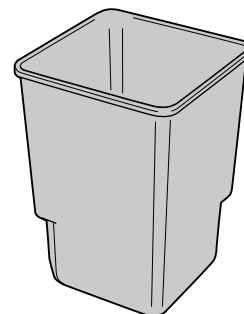
3.3 付属品



クリーニングボール
コーヒー経路の洗浄
に使用します



エバクリーン
エバクリーン用ポンプを
取り付け、ミルク経路の
洗浄に使用します



洗浄用コンテナ
エバクリーンを入れ
る容器です

給水ホース
長さ 2m、ステンレ
ス鋼網組ホース

**給水用スクリュー
キャップ**
口径 G3/8 インチ

排水ホース
長さ 2m、
直径 23mm

エバクリーン用ポンプ
エバクリーンのタンクに
取り付けます

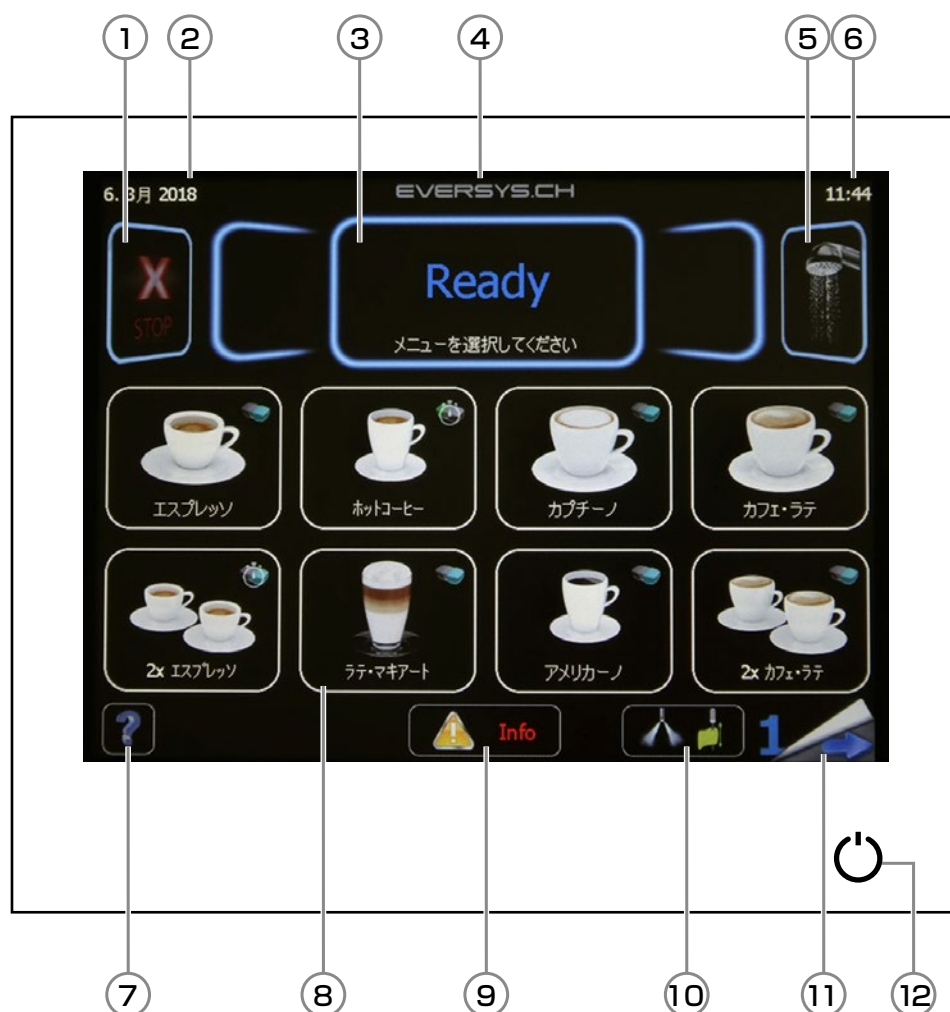
3.4 各部の名称

本体



- | | |
|----------------|--------------|
| ① 豆ホッパー（後） | ⑦ スチームノズル |
| ② クリーニングボール投入口 | ⑧ 抽出口 |
| ③ 豆ホッパー（前） | ⑨ カス受け |
| ④ タッチパネル | ⑩ コーヒーカップトレイ |
| ⑤ 給湯ノズル | ⑪ トレイ |
| ⑥ カップウォーマー | |

メイン画面の表示とボタン(タッチパネル)



- | | |
|---------------|---------------|
| ① 停止ボタン | ⑦ ヘルプボタン |
| ② 日付 | ⑧ ドリンクメニューボタン |
| ③ メッセージウィンドウ | ⑨ 通知ボタン |
| ④ プログラムモードボタン | ⑩ フラッシングボタン |
| ⑤ リンスボタン | ⑪ ページ送りボタン |
| ⑥ 現在時刻 | ⑫ スタンバイボタン |

操作ボタン

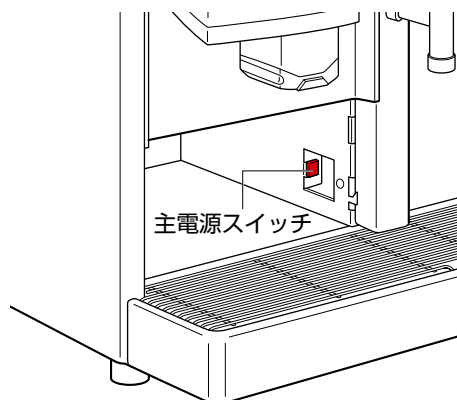
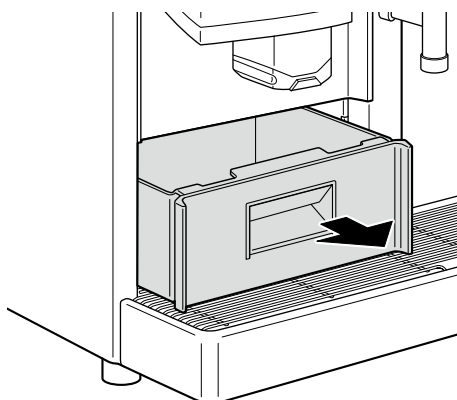
アイコン	名称と機能	アイコン	名称と機能
	ページ送りボタン メニューページを送る		「上へ」ボタン メニューの上部を表示する
	「戻る」ボタン 1 つ前に戻る		「下へ」ボタン メニューの下部を表示する
	「進む」ボタン 1 つ次に進む		「増やす」ボタン 設定値を増やす
	スライダー 指を左右にスライドさせて、設定値を増減する		「減らす」ボタン 設定値を減らす
	タッチバー 各種表示項目を開く		「閉じる」ボタン 開いた項目や表示を閉じる

1 準備

1.1 電源を入れる

- 1** カス受けを取り外し、本体内の右側にある主電源スイッチを押してから、カス受けを戻す

- ディスプレイが一度表示されたあと自動で表示が消え、スタンバイモードに入ります。



- 2** タッチパネル右下隅にある、スタンバイボタンを 2 秒以上長押しする

- スタンバイ／エコモードから本機を起動します。

- 3** リンスボタンを押す



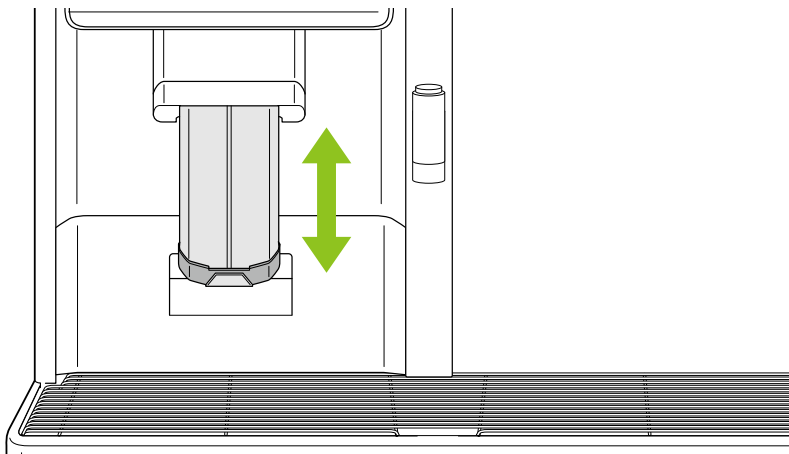
- 4** 表示されるメッセージに従って、本体が温まるのを待つ

- 本体が温まるまで約 10 ～ 15 分程度お待ちください。

1.2 コーヒー抽出口の高さ調節

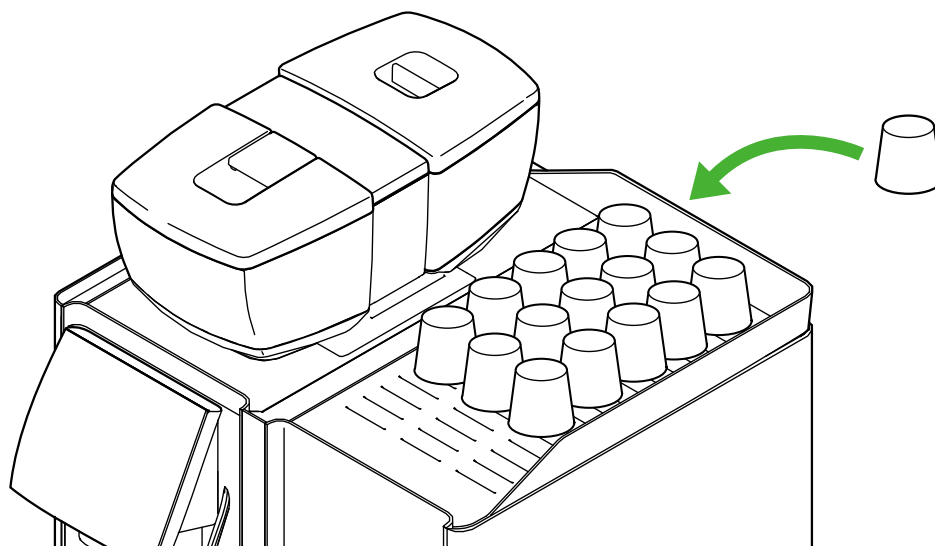
コーヒー抽出口を上下に動かして、カップのサイズに高さを合わせることができます。

抽出口を指で持ち、上下に動かす



1.3 カップを温める

カップは常にカップウォーマーの上に置いて温めてください。

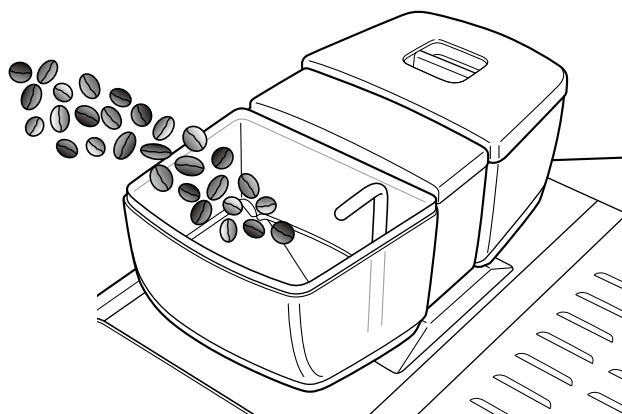


1.4 豆ホッパーにコーヒー豆を入れる

コーヒー豆は必ず新鮮なものを使用してください。

1 ふたを開け、豆ホッパーにコーヒー豆を入れる

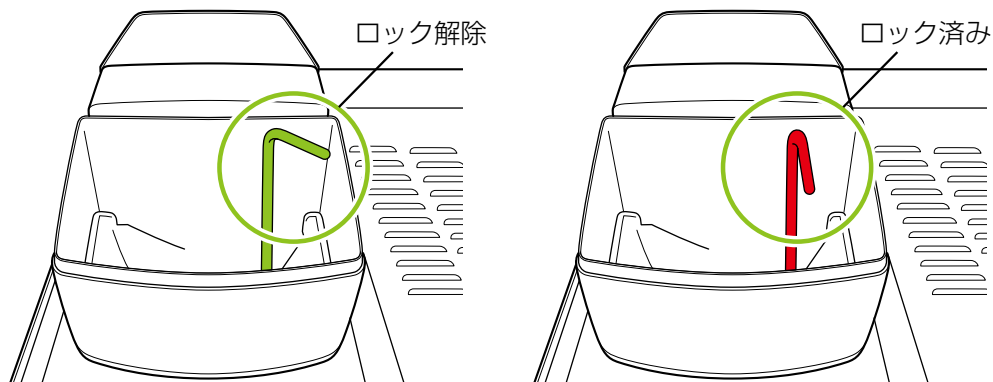
- ドリンクメニューに合わせて前後の豆ホッパーに入れるコーヒー豆を使い分けてください。



〈豆ホッパーレバーの位置〉

緑色：ロック解除（豆ホッパーのシャッターが閉まり、本体から取り外すことができます）

赤色：ロック済み（豆ホッパーのシャッターが開き、本体に取り付けられます）



※ 豆ホッパーを再び取り付けるときは、豆ホッパーレバーをしっかりと回し、完全にロックされていること（赤色）を確認してください。

1.5 牛乳を入れる

本体の側面または下に冷蔵庫（別売品）を設置し、新鮮で冷たい牛乳（目安4℃）を入れてください。

2 使用法

2.1 ドリンクメニューボタン

抽出したいボタンを押します。

※ 抽出を途中で止めたいときは、同じボタンを押すか、停止ボタンを押してください。



2.2 ドリンクメニューの画面

ドリンクメニューは最大 32 種類（8 種類× 4 ページ）のドリンクメニューを登録できます。

メイン画面の「ページ送り」ボタンを押して、次ページのドリンクメニューを表示します。最終ページで押すと 1 ページ目に戻ります。

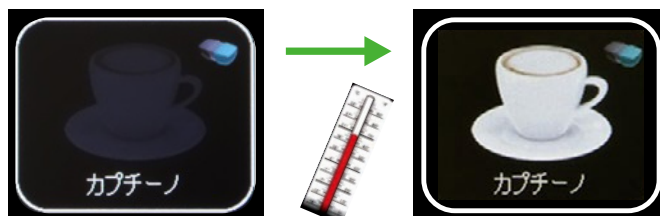
※「ページ送り」ボタンはドリンクメニューが 2 ページ以上登録されている場合にのみ表示されます。



※ 初期設定ではページを送った後、10 秒後に自動で 1 ページ目に戻ります。この設定はプログラムモードの「ディスプレイ設定」で変更できます。

2.3 予熱

ミルクメニューボタンは、ボイラーの予熱が完了するまで灰色で表示されます。ボタンが灰色で表示されている間はミルクメニューは抽出できません。



2.4 ミルク経路の洗浄

最後のミルクメニューを抽出した後、5分経過すると、自動でリンスを開始して抽出口を洗浄します。

3 ドリンクメニューの設定

3.1 プログラムモードへのアクセス

プログラムモードは、入力したパスワードに応じたメニューを利用できます。

スタッフ：抽出履歴の閲覧ができます。

マネージャー：設定内容の閲覧と最小限の変更ができます。

3.2 ドリンクメニューの設定

マネージャーは水量やミルク量などの設定を変更することができます。

1 プログラムモードボタンを 2秒以上長押しする



2 マネージャーパスワードを入力し、「Enter」ボタンを押す

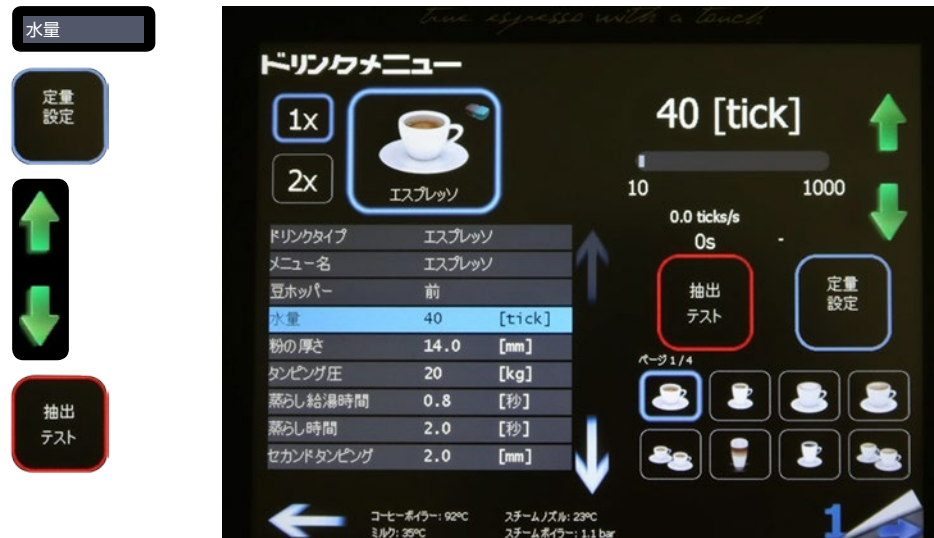


パスワードは忘れないようにしてください。
パスワードを忘れた場合は エバシス ユーザーサポートセンターへお問い合わせください。

3 メインメニューから「ドリンクメニュー」ボタンを押す

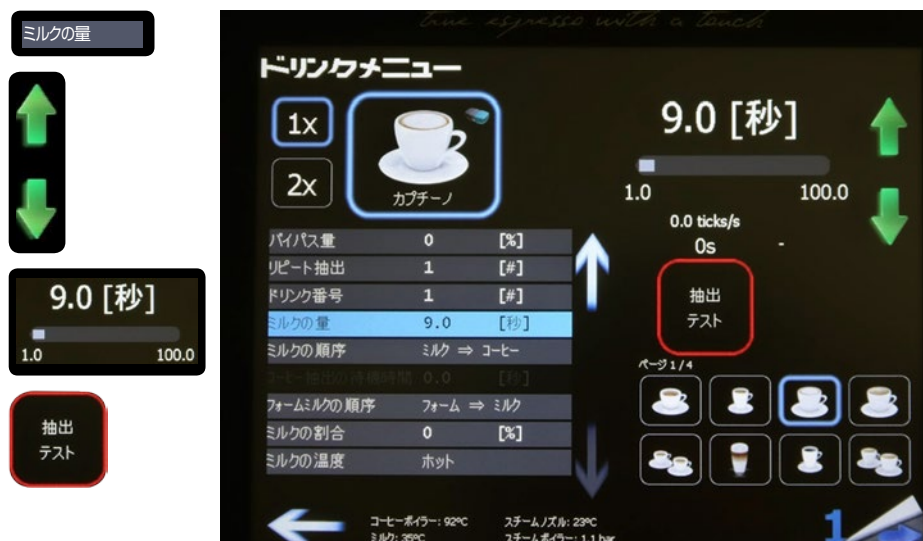


3.3 水量 (抽出量をカップのサイズに合わせる)



- 1 「水量」のタッチバーを押す
- 2 使用するカップをコーヒー抽出口の下に置く
※ 2 杯抽出の場合は、カップを 2 つ置いてください。
- 3 「定量設定」ボタンを押して、抽出を開始する
- 4 必要な水量に達したら、「定量設定」ボタンをもう一度押して、抽出を停止する
※ 必要に応じて「増やす」ボタンまたは「減らす」ボタンで調整してください。
- 5 「抽出テスト」ボタンを押して、調整後の抽出を確認する

3.4 ミルクの量 (ミルクの量を調整する)



- 1 「ミルクの量」のタッチバーを押す
- 2 「増やす」ボタン、「減らす」ボタン、スライダーで調整する
※ ミルクの量は抽出している時間（秒）で設定します。
- 3 「抽出テスト」ボタンを押して、調整後の抽出を確認する

1 使用中にするお手入れ



1.1 抽出口のリンス

コーヒー経路を手動で洗い流すには、リンスボタンを押します。リンスが始まりコーヒー経路がお湯で洗い流されます。

1.2 スチームノズルのフラッシング

スチームノズルを使用した後は必ず、フラッシングボタンを押し、スチームノズルを固く絞った濡れ布巾で拭いてください。

2 毎日するお手入れ

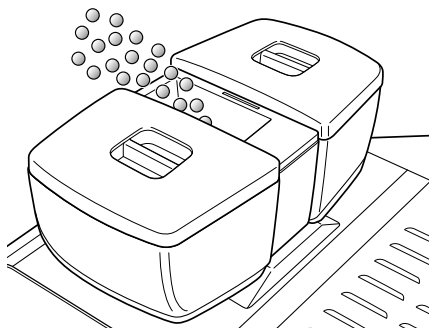
使用後は必ず自動クリーニングを行ってください。

2.1 自動クリーニング

1 クリーニングボール投入口にクリーニングボールを入れる

● 必ず専用のエバシス クリーニングボールを使用してください。

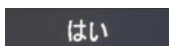
※ 1 回のクリーニングにクリーニングボールを 1 つ消費します。



2 リンスボタンを 2 秒以上長押しする



3 「はい」 ボタンを押す



4 カス受けを空にする

5 ディスプレイのメッセージに従って洗浄する

- 専用洗浄剤「エバクリーン」を使用してミルク経路の洗浄も行います。



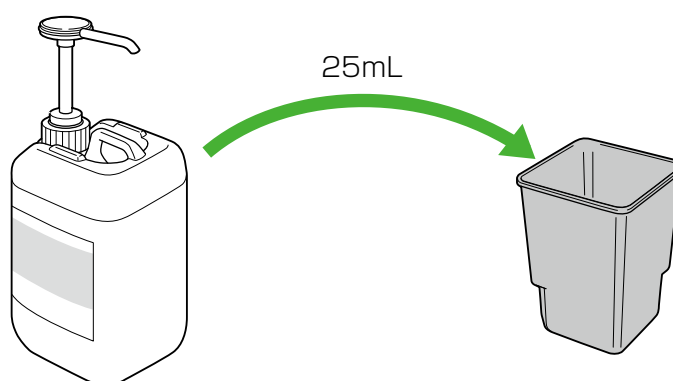
〈内部洗浄後の排水について〉

※ 内部洗浄後、カス受けにたまったお湯を捨ててください。

6 ミルクが入っている容器から、ミルクチューブを取り出す

7 洗浄用コンテナにワンプッシュ分（25mL）のエバクリーンを入れる

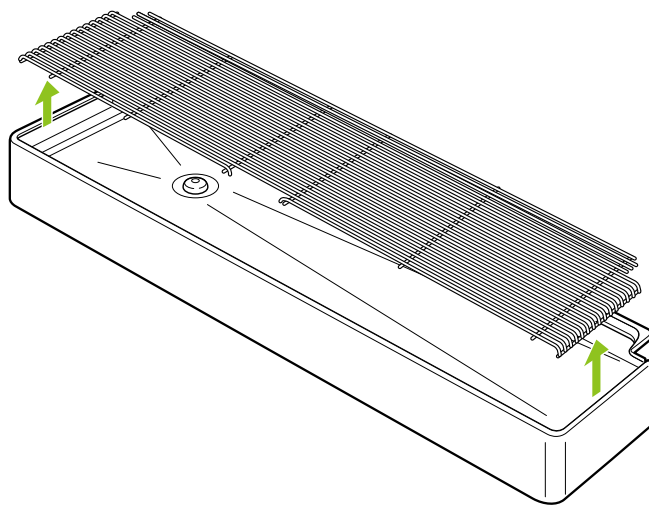
※ 予備のエバクリーンは販売店または当社にお求めください。



- 8** ミルクチューブを洗浄用コンテナに入れ、「次へ」ボタンを押す
※牛乳に浸かっていた部分が洗浄液に浸かるように入れてください。
- 9** 洗浄が終わったら固く絞った濡れ布巾を使ってミルクチューブを拭く
- 10** カス受けを取り出し、水洗いして、よく乾かす

2.2 トレイの清掃

- 1** カップトレイの網を取り外す



- 2** 水で洗い、よく乾かす
- 3** カップトレイを再び取り付ける

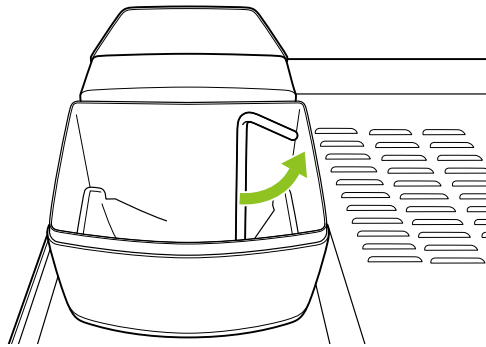
3 毎月するお手入れ

月に1回各部を清掃してください。

3.1 豆ホッパーの清掃

1 豆ホッパーのロックを解除して、豆ホッパーを取り外し空にする

※ コーヒー豆は別の容器にあけておきます。



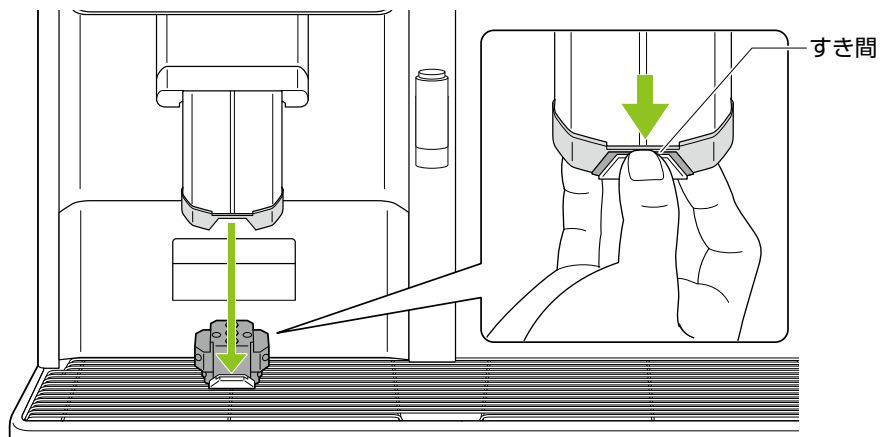
2 固く絞った濡れ布巾を使って豆ホッパーを拭く

※ 取り付けるときは、前後の豆ホッパーを取り間違えないでください。

3.2 抽出口の清掃

1 抽出口を引き抜く

※ 抽出口取り付け部のすき間に親指を入れると引き抜きやすくなります。



2 抽出口をやわらかいブラシで清掃する

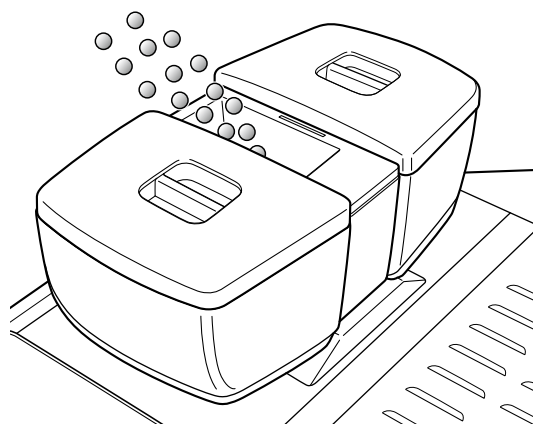


金属製のブラシは使わないでください。

3.3 クリーニングボールの補充

クリーニングボール投入口のふたを開け、クリーニングボールを補充する

※ 破損したクリーニングボールの破片は詰まりの原因になります。



※ 必ず専用のエバシス クリーニングボールを使用してください。

※ クリーニングボールは1 ボトルで約2 か月分のクリーニングができます。
予備のクリーニングボールは販売店または当社にお求めください。



- エバシス クリーニングボールは本機専用の洗剤です。
- 別の用途で使用しないでください。
- 幼児の手の届くところには置かないでください。
- 万一、飲み込んだ場合は、無理に吐かず、水で十分に口をすすいだ後、医師にご相談ください。
- 洗剤液が目に入った場合は、直ちにきれいな水で数分間洗い流した後、医師にご相談ください。

3.4 本体の清掃

本体をお手入れするときは、固く絞った濡れ布巾で拭く

- 汚れがひどい場合は薄めた食器用中性洗剤を使用する



- ベンジン、シンナー、アルコール、研磨剤は使わない
- 本体を高圧洗浄機などで洗わない

1 通知と対処方法

本製品は、問題が生じたときにトラブルシューティングおよびエラーメッセージを表示します。通常はメッセージに従って本体を操作し、問題を解決してください。

- 1 操作が必要な場合、タッチパネルの下部にある通知ボタンの  が点灯する



- 2 通知ボタンを押し、ディスプレイのメッセージに従う

※ 他のメッセージがある場合は、「戻る」ボタンと「進む」ボタンを使って、確認する。



[illegible]

アフターサービス

- 1) 使用中に異常(★)が生じた場合は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。本体ディスプレイに表示されるエラーメッセージの通りに操作をしても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社(下記)にご相談ください。

――― 〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉 ―――

- ・使用中、電源プラグ・コード、コンセントが異常に熱くなる
- ・本体に強い衝撃を与えた
- ・本体に水などの液体をこぼした
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない
- ・電源プラグ・コードが変形／破損している

- 2) 万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に
1. お買い上げ日 2. 据付日 3. 製品名称と型式番号 4. 故障の状況―――を連絡のうえ、出張修理を依頼してください。
※出張修理の費用については、修理依頼時にお問い合わせください。
※離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費をご負担いただきます。
※本製品のメーカー保証範囲は裏表紙の保証規定によります。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります（補修用性能部品保有期間内）。
- 3) 補修用性能部品の保有期間について
当社は、このスーパーオートマティックコーヒーマシンの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に5年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 4) 廃棄について
販売店または専門の廃棄業者へ相談してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または下記までお問い合わせください。

エバシス ユーザーサポートセンター

受付時間 毎日 9:00 ～ 18:00 (365 日対応)

〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

Tel. 0120-080-151 / Fax. 048-449-6830

ホームページでのお問い合わせ (URL) 業務用コーヒーマシン専用サイト

professional.delonghi.co.jp

